

クリスマスナイトジャズ2022

Christmas Night Jazz

Ken's Trio
with 松村聖華

Ken Kaneko Bass

Hiroyuki Takuboi Piano

Hayato Yamazaki Drums

Seika Matsumura Vocal

Seika Matsumura
松村聖華



Ken Kaneko
金子 健



Hiroyuki Takuboi
田窪寛之



Hayato Yamazaki
山崎 隼

2022.12.3 土 開場17:30 開演18:30

魚沼市小出郷文化会館小ホール

チケット 4,000円(当日4,500円)

交通利用チケット 5,000円

お近くの路線バス停留所から小出郷文化会館への往復送迎料金が含まれたチケットです。
ご希望の方は11月末日までに小出郷文化会館にお申込みください。

限定
60名

★会場にて、アルコール類・ソフトドリンク・軽食を販売いたします。どうぞお楽しみください。(料理提供:スペイン・バル que da uno)
飲食のお支払いに「新潟県版 Go To Eat 食事券」が使用できます。

※新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては飲食を中止する場合があります。

【主催】小出郷文化会館ジャズ実行委員会 【共催】魚沼市小出郷文化会館(指定管理者/NPO法人魚沼交流ネットワーク)
【お問合せ先】魚沼市小出郷文化会館 TEL.025-792-8811 FAX.025-792-6776

Christmas Night Jazz

Ken's Trio with 松村聖華



松村聖華 -vocal-

大阪市出身。

幼少期よりピアノ、吹奏楽部ではフルートを通して音楽に親しむ。

2013年秋、代々木 NARU ボーカルオーディション合格を機に Jazz を歌い始める。

翌年、東京から福岡へ移住。福岡と東京と往復しながらライブ活動をスタート。

2015年東京へ戻り、現在、都内ジャズクラブを中心にライブ活動中。

2017年には、JaZZ JAPAN 誌にて『2010年代に頭角を現した新鋭アーティスト 60』に選出される。



金子 健 -Bass-

1964年、東京生まれ。

国立音楽大学卒業後演奏活動をはじめ、同時に高校の音楽講師も6年間つとめる。

コントラバスを松野茂（国立音楽大学）、永島義男（東京藝術大学）両氏に師事

ジャズ・ベースを池田芳夫氏に師事する。

1993年、岡安芳明 (g) 『Midnight Groove』 (キングレコード) に参加後、山本剛 (p)、

大隅寿男 (ds)、阿川泰子 (vo) 等、多くのミュージシャンと共演。参加したアルバムも多数。

2005年には、自己のリーダー作『I Like It!』 Ken's Trio+1(WNR) を、つづく2006年には2nd CD『The Chant』 Ken's Trio (WNR) 発表。

2009年8月に3rd アルバム『Tripression』 Ken's Trio (WNR) をリリース。

また、2007年以降は山下洋輔 (p) Special Big Band、寺井尚子 (vln) カルテット、矢野沙織 (as) カルテット等のツアーやレコーディングにも参加している。

2010年5月には、ベニー・グリーン(p)、井上智(g) とのリーダーユニット「KBS TRIO」のアルバム『What Am I Here For』も発売され、スイングジャーナル誌「ゴールドディスク」を受賞。

2012年にはKBS Trio 2nd CD『RESONANCE』、2015年3rd CD『Delight』も発売された。

演奏活動とともに、2006年から国立音楽大学講師も務め 後進の指導にもあたっている。



田窪寛之 -Piano-

1981年7月3日生まれ。

4歳よりピアノを習い始める。中学の頃に、Bill Evans の音楽に出会い、ジャズに興味を持ち始める。クラシックを習う傍ら、ジャズを独学で学び、色々な人との出会いを通じて、高校卒業後、渡米を決意。

2000年9月に渡米。ボストンのバークリー音楽大学に入学する。アメリカでのセッションやライブ

などの音楽体験が、今現在の自分の音楽の基盤になっている。

2004年、バークリー卒業後、ロイヤルカリビアン社のカリブ海クルーズの客船の中で半年間ピアニストとして演奏活動をする。半年の契約を終えた後、2005年4月に帰国。

2009年横浜ジャズブロードのジャズコンペティションで山田拓児クインテットのメンバーとしてグランプリを受賞。

2010年NHK-FM「セッション2010」で、川嶋哲郎カルテットのメンバーとして出演。

ライブを通じて、さまざまなミュージシャンやバンドと関わりながら、自己の音楽性を高めるべく活動している。



山崎隼 -Drums-

2001年愛知県生まれ

デキシーランドジャズバンドでトランペットを吹く父、ドラムを叩く母の影響で3歳からドラムを叩き始める。

9歳でライブ活動を開始。中学校在学時はラテン音楽 / ブラジル音楽に没頭。またフュージョンギタリスト「倉谷明」氏の紹介で様々なジャズ、フュージョンミュージシャンとの共演も重ねる。

2018年尚美ミュージックカレッジ主催の「高校生ソロプレイヤーズコンテスト2018」にて最優秀賞を受賞。

高校在学中より頭角を現し、第一線のミュージシャンと共演するなど、活動の幅を広げている。

2020年に高校を卒業し、プロとしての活動をスタートする。2021年には活動の拠点を東京へ移し、ジャズ、ポップス、フュージョン、ラテン、ブラジリアンなどジャンルを問わずセッションドラマー / スタジオミュージシャン / パーカショニストとして活動。

YAMAHA(Drum),Meinl(Stick) エンドーサー。